

中部国際空港 CO₂削減の取り組み

セントレア貨物地区水素充填所
水素ステーション

天然ガスステーション
ECO STATION

自然採光・光触媒ガラス
グリーンカーテン

航空機騒音測定局
空港周辺

管制塔・航空局庁舎
中部国際空港駅
第2ターミナルビル
FLIGHT OF DREAMS (フライト・オブ・ドリームズ)
Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

進入灯
貨物施設
エプロン
第1ターミナルビル
滑走路 (3,500m)
進入灯

太陽光発電パネル
1,400枚の太陽光発電パネル

エネルギーセンター
天然ガスコージェネレーションシステム

海水利用設備

航空機給油施設
給油タンク: 6,000ℓ × 5基

GPU (地上動力装置)

EV・PHV 充電スタンド

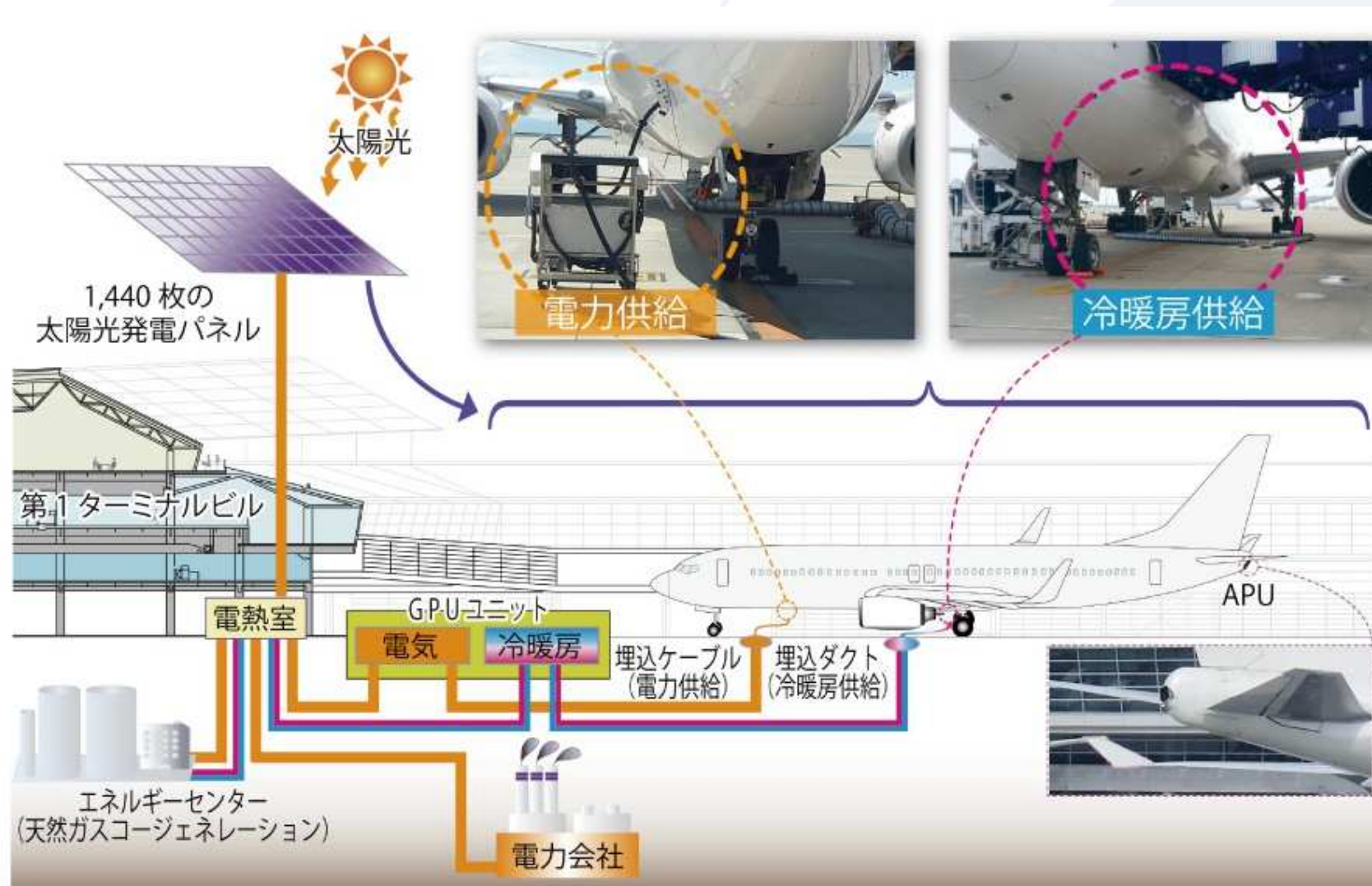
リサイクルセンター

藻場の造成
ワカメ・アカモク

ハイドラント方式による給油

GPU (地上動力装置) の利用推進

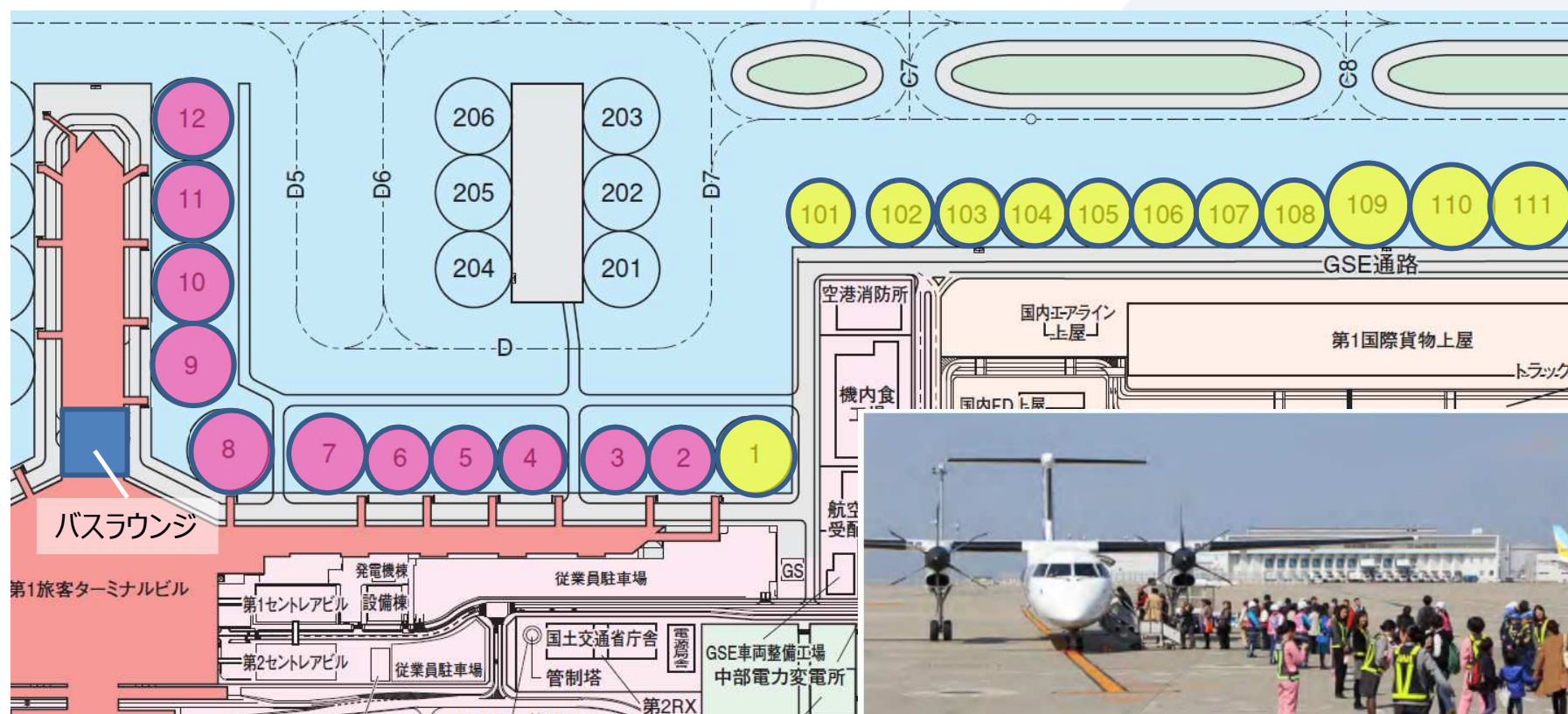
- ◆ より環境負荷の少ない、電力による固定式GPUをエプロン地区などのスポットに設置
- ◆ GPUの利用により、排気ガスの減少による大気汚染の改善、騒音排気ガス減少による労働環境改善、燃料の削減などを図ることが可能 (GPU電力の10~15%は、太陽光発電によるもの)



小型機の自走アウト可能スポットの整備

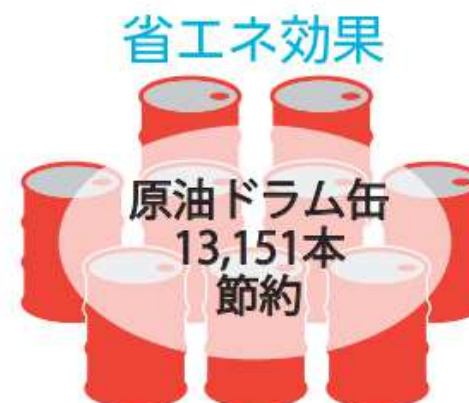
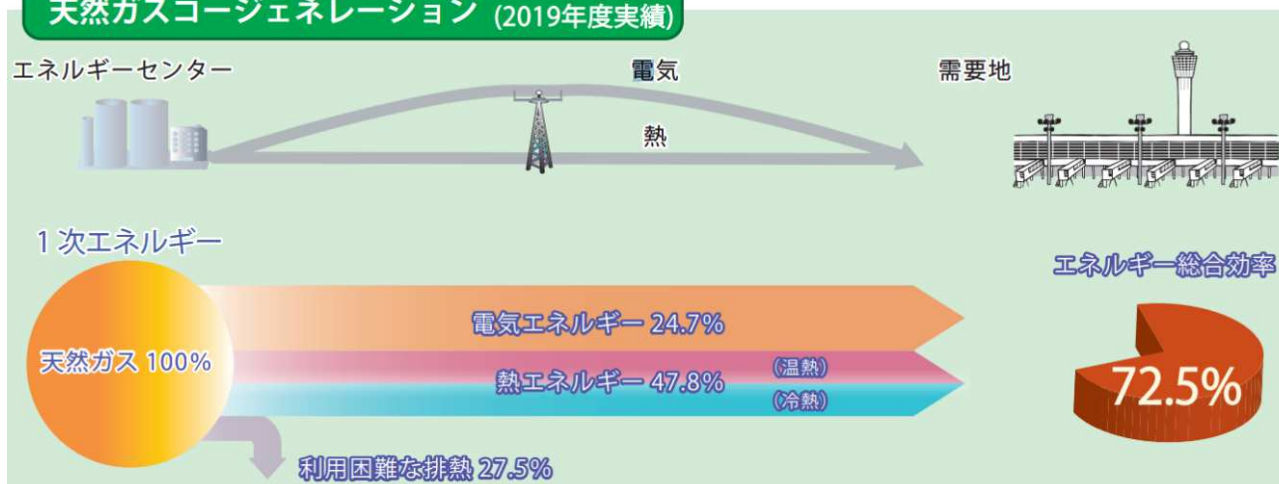
- ◆ 小型機（CRJ7、DH8D、PV機など）が自走アウト可能なスポットを整備（PBB（搭乗橋）設置の一部のスポットにおいても、駐機位置の変更等を行い、自走アウト可能とした）
- ◆ プッシュバック機会の減少による牽引車のCO₂削減に加え、バスラウンジ近傍のスポットでのハンドリングが可能になり、旅客の移動距離・時間が短くなることで満足度の向上にも寄与

小型機の自走アウト可能スポット ● PBB付スポット ● オープンスポット



- ◆ 1つのエネルギー（天然ガス）から2つのエネルギー（電気と熱）を取り出すシステムで、エネルギーの利用効率が高く、燃料の使用量を抑えることが可能
- ◆ ガスタービン発電機によって発電を行うと同時に、排熱を利用して蒸気を取り出すことが可能
- ◆ 海水熱交換器では、海水との温度差を利用し、プラント設備の冷却水を冷却

天然ガスコージェネレーション (2019年度実績)



- ◆ お客様用のEV・PHV充電スタンドや天然ガスステーション等の整備、制限区域内GSEの充電設備の整備、お客様駐車場の低公害車割引等により、低公害車の利用を推進



EV・PHV充電スタンド（お客様用）



天然ガスステーション



充電中の電動フォークリフト



電動トーイングトラクター



電気自動車（連絡車）

◆ 水素ステーションの整備により、燃料電池車両の利用を推進



セントレア水素ステーション（商用）



貨物地区水素ステーション（産業用）



FCフォークリフト



FCバス